

高校世界史プリント（過去問類似）

近世（結びつく世界） No.9

名前

得点

/10

問1 13世紀に西アフリカのニジェール川流域に成立し、イスラーム教を受容して、都のトンブクトゥが交易や学術の中心地として繁栄した国は何か。（2009年 全国公立入試 類似）

1. ベニン王国 2. マリ王国 3. ソンガイ帝国 4. ガーナ王国

問2 イングランドのステュアート朝初代国王ジェームズ1世が、議会を無視した専制政治を正当化するために主張した、王の権力は神から授けられた絶対的なものであるとする政治理論は何か。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 王権神授説 2. 自然法思想 3. 人民主権説 4. 社会契約説

問3 明代の中国では、長江下流域の蘇州などが綿織物業や製糸業などの商工業都市へと発展した。これに伴い、新たな穀倉地帯となった長江中流域の生産力の高まりを表現した言葉は何か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. 蘇常熟すれば天下足る 2. 江浙熟すれば天下足る 3. 湖広熟すれば天下足る 4. 蘇湖熟すれば天下足る

問4 17世紀初頭、アジアにおける香料貿易の独占を狙うオランダは、ジャワ島西部に東インド会社の本部を置き、東南アジアにおける植民地支配の拠点となる都市を建設した。現在のインドネシアの首都ジャカルタの旧称にあたる、この都市はどこか。（2022年 全国公立入試 類似）

1. マカッサル 2. バタヴィア 3. アンボyna 4. パレンバン

問5 17世紀末から18世紀初頭にかけてロシアを統治し、西欧化による近代化を強力に推進した皇帝は誰か。彼は貴族に対して伝統的なあごひげを剃ることを義務づけ、従わない者には税を課したほか、北方戦争の最中にバルト海沿岸に新首都を建設した。（2014年 全国公立入試 類似）

1. ピョートル1世 2. エカチェリーナ2世 3. ニコライ2世 4. アレクサンドル1世

問6 15世紀末にアフリカ南端を経由するアジアへの直接の海上ルートが開拓された結果、それまでムスリム商人やイタリア諸都市が主導していた東方貿易の構造が激変した。この航路開拓を推進した国家の首都であり、アジアから直接もたらされる香辛料の取引拠点として急速に繁栄を極めた都市の名称として最も適当なものを答えよ。（2018年 全国公立入試 類似）

1. セビリア 2. ベネチア 3. ジェノバ 4. リスボン

問7 16世紀前半、アペニン半島の支配権をめぐってハプスブルク家と激しく対立し、1519年の神聖ローマ皇帝選挙においても、スペイン王カルロス1世（のちの皇帝カール5世）の対立候補として立候補したフランス国王は誰か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. フランソワ1世 2. スレイマン1世 3. エリザベス1世 4. フランソワ2世

問8 14世紀半ばにチャオプラヤ川下流域に成立したこの王朝は、隣国のアンコール朝を圧迫して衰退に追い込み、また朱印船貿易などを通じて日本とも深く交流した。18世紀にビルマ（ミャンマー）のコンバウン朝によって滅ぼされるまで、交易国家として繁栄した東南アジアの仏教王国は何か。（2006年 全国公立入試 類似）

1. クディリ朝 2. マタラム朝 3. クメール朝 4. アユタヤ朝

問9 1688年から1689年にかけての政変において、妻のメアリ2世とともにオランダから招かれ、共同統治者としてイギリス国王に即位した人物は誰か。（2016年 全国公立入試 類似）

1. チャールズ1世 2. チャールズ2世 3. ジェームズ2世 4. ウィリアム3世

問10 16世紀後半のスペインにおいて、1580年にポルトガルで王統が途絶えたことを契機に同国の王位を兼ね、広大な海外植民地を合わせて「太陽の沈まぬ国」と呼ばれる大帝国を現出させた国王は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. カール5世 2. フェリペ2世 3. シャルル9世 4. ヘンリ8世